



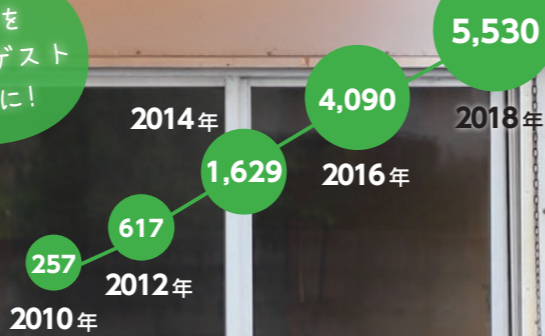
空き家リノベーションプロジェクト

人がつながる家

資材 有限会社 浜園商店 ☎2-0123

自然と人が
集まってくる
場所にしたい

空き家を
みんなでゲスト
ハウスに!



地域おこし協力隊の隊員数推移 (総務省)

未来づくり専門員
井上 聡佑郎 (21)

いのうえ・そうたろう

▶福岡県宗像市出身。鹿児島大学工学部機械工学科4年生、専攻は材料工学。趣味は旅行、マリンスポーツ、音楽鑑賞。大学では車のエンジンやロボットを専攻。他の学部の教授や友人の影響でまちづくりにとても強い関心がある。鹿児島大学を休学して移住。特技は水泳だが、錦江町の海が遊泳禁止で落ち込んでいる。

やまなか・あきら

▶福岡県遠賀郡出身。大阪教育大学卒業後、大阪の小学校で教員として2年間勤務。その後はソフトバンクで2年間勤務。社会人5年目となる今年の4月1日から未来づくり専門員に着任して錦江町に移住。担当は空き家の利活用。趣味はパドミントン、料理、アウトドア。

地域おこし協力隊(以下協力隊)の制度が始まって10年が経過しました。都市部から一定の期間、地方に移住し、地域活性化の取り組みを支援する協力隊員の数は、創設当初の530名から、2018年度時点では5,899名にまで増えてきました。協力隊に求められる役割や募集要件は自治体によっても異なり、その名目とおり「なにか地域おこしをしてもらいたい」と漠然とした目的で募集しているケースもあります。しかし、協力隊員にないを求めるのか、本来の課題とはなにかを見直し、募集時点で町と協力隊員の思いのミスマッチをなくすることが重要です。

町では、昨年の募集から「未来づくり専門員」の名称で、明確な課題の解決に取り組むための協力隊を募集しました。町には800件以上の空き家が存在し、今後も増え続けることが予想されます。そこで、商店街で空き家になっている旧浜園商店を町が借上げ、リノベーション(改修)し、宿泊や交流の拠点施設として活用する「空き家リノベーションプロジェクト」を進めています。

今回は、このプロジェクトに共感し、4月から未来づくり専門員(空き家利活用担当)として活動している二人を取材しました。

CONTENTS (目次)

- 03 空き家リノベーション「人がつながる家」
- 06 全国道場少年剣道大会 出場決定
- 08 シリーズかごしま国体 VOL.6
- 09 まちからのお知らせ
- 12 「MIRAI」づくりプロジェクト
- 13 フォトニュース
- 14 南大隅高校だより
- 15 山地災害の危険信号を見逃すな!
- 16 年金だより・お知らせ
- 17 きんこう四季の収穫祭 VOL.2
- 18 やまぶんブックニュース
- 19 戸籍情報
- 20 暮らしの情報

Kinko 今月の表紙

「剣聖 宮本武蔵旗 全国個人選手権小学4年生の部」で見事優勝した桑原陽翔選手。これまでの個人部門最高成績は準優勝。今回300名を超える選手の中から、悲願の初優勝を果たした。



毎月第2木曜日に発行している「広報きんこう」は、錦江町ホームページでも見ることができます。パソコンやスマートフォンからもご覧ください。
<https://www.town.kinko.lg.jp>



LINE@ 錦江町
FUNFAN
錦江町FANクラブ
の登録ができます



マチイロを
ダウンロードすると

- 1 錦江町の広報紙やホームページの最新情報をいち早くゲット!
- 2 公式YouTubeページや町のFacebook、Twitterをアプリから気軽に確認!
- 3 気になった記事は、画像で保存したり、メールやSNSで共有することができるよ!

錦江くわがたガールズ
(錦江町ふるさと大使)



参議院議員通常選挙

2019年7月21日(日)

午前7時から午後7時まで



期日前投票

7月5日(金) » 7月20日(土)

午前8時30分から午後8時まで (役場本庁・役場田代支所)